

チャレンジプラン

作成年度	平成23年度
作成者	坪倉勝幸

坪倉農場農作業らくらく&拡大プラン

作 成 者 坪倉勝幸

事業主体 坪倉農場

はじめに(プラン作成に至った経緯等)

私は、就農して以来、稲作と受託作業を中心に農業経営を続けています。就農時からトラクター、田植機、コンバイン(町内で1番目)、テンパリング乾燥等農業機械の近代化を進めるとともに水田平置きトンネル育苗(中苗)技術の導入など地域に先駆けて、新技術や新機能の農機具の導入など農業の近代化に努めながら、今日まで営農を続けています。

昭和56年から高齢化した農家や担い手がなくなった農家から農作業の受託や利用権設定による耕作を担うようになり、経営規模も年々増加してきました。

また、土地改良区の役員として県営圃場整備事業の推進、地域のリーダーとして地区の農地の利用権設定の交換を進めるなどブロック化し担い手の棲み分けの実行や農事組合の役員として集落営農(共同機械利用)の展開も手がけてきました。

地域の農地を守り、農業を持続することは地域の発展、集落の維持に最も大切なことと考えています。その中で、私は地域や農業の担い手としてさらなる努力をしていかなければと思っています。

しかし、最近では加齢と共に力まかせの労働も先行きが不安になり、農作業の軽減を考えるようになりました。農作業場も昭和30年頃に建てた中古物件(その後、一部増改築)で大型の乾燥機の導入に支障がある他、トラックも入らず米の乾燥調整作業や肥料等の資材の搬入、搬出にも多大な体力と労働時間が必要であります。乾燥機への収の張り込みには、クレーン付きトラックを借りて作業しています。

そこで、農作業場を移転、新築するとともに機械の大型化、高性能化を図り農作業の効率化と労力の軽減を図りたいと考えました。また、妻との共同作業の領域を広げる事による労働の軽減も図りたいと考えています。幸いに永年の懸案であった自宅前の空き地を昨年譲り受けることができ用地が確保できたこともあり、チャレンジプラン支援事業による支援を受けて整備していきたいと思っています。

そのことにより、引き続き地域農業の担い手として農地や農作業を引き受け経営規模の拡大に努めるとともに、農作業の効率化、労力の軽減にも取り組むことにより安定した農業経営を続け、後継者につないでいきたいと思っています。

1 生産経営の現状・課題

1) 生産経営の現状

経営規模

自作地	借入地	合 計
2 4 1 a	7 4 0 a	9 8 1 a

作 目

水 稻	大 豆	ソ バ	緑 肥	そ の 他
8 5 6 a	2 8 a	3 1 a	3 9 a	2 7 a

受託作業

耕 耘	代 掻	田 植	稲 刈	乾 燥 調 整
1 6 a	6 0 a	3 0 0 a	3 0 0 a	2 7 0 a

機械設備

種 類	型 式 等	経 過 年	種 類	型 式 等	経 過 年
作業場	木造 7 2 m ²	5 1	田植機	6 条 植	8
格納庫	木造 2 4 m ²	1 8	コンバイン	4 条 刈	1
トラック	2 t	1 3	乾燥機	2 5 石	1 0
軽トラ	0 . 3 5 t	6	乾燥機	3 0 石	4
トラクター	2 3 p s	2 3	籾摺機	5 インチ	1 5
トラクター	3 1 p s (リース)	2	選別計量器	1 . 8 t / h	1 1
ハロー	2 . 8 m	2	石拔機	1 . 8 t / h	7
運搬車	0 . 5 t クローラ	2 2	ビニールハウス	472 m ² 3 棟	6

2) 課題等

①農地が5つの団地、最長通作距離8 . 5 kmと広範囲に分散している為、水管理の労力が多大であることと農作業の効率が悪い。しかし、阿毘緑地域の担い手間の棲み分けや団地化を進めてきた経緯から、
集落内の農地については、私が引き受けることになります。

農業委員会のあっせんを受けるなどにより1つの団地の連担面積を増やすことにより作業効率を高めていきたい。

②籾乾燥・調整作業に先述の通り旧来構造の農作業場で行っている為に、クレーン付きトラックの借用に係る労力や使用料の負担がある。また、米のはい付けや資材の積み卸しの労力負担が多い。さらに、乾燥機、籾摺り機等の機械が古く時間がかかる上に作業精度に難がある。加えて、田植機、コンバインを使用期間外は、倉庫を借りて格納している。農作業場の移転新築と乾燥、調整に係る一連の機械を整備し、作業労力の軽減と効率化、米の品質向上を進めていきたい。

2 生産経営等の改善内容(目標)と効果

1) 改善内容

①経営規模の拡大

利用権設定による耕作面積や農作業の受託面積を拡大したい。

②作業場の移転新築

作業場を住宅敷地内から県道の前側に移転新築したい。構造は、①大型の乾燥機が入れられ一連の乾燥調整作業がスムーズにできる、②フォークリフトによる米のはい付けや肥料等の積み降ろしができる、③2トントラックが作業場の中に入り、粃のフレコンがホイスで降ろすことができる、④田植機等が格納できるスペースがある、などの条件が満たされるものにしたい。また、移転することにより住宅への粉塵の飛散も軽減できる。

- ・クレーン付きトラックの借用料10万円の皆減、借りる・返す時間の皆減、作業時間の調整の不要。
- ・粃の張り込み作業が妻でもできるようになる。
- ・フォークリフトによる米のはい付けや肥料等の積み降ろしができ、労力が軽減できる。
- ・田植機、コンバインを格納できる。 → 倉庫料2万円の皆減

③粃乾燥機の導入

現在2台ある内の1台は、25石と小型である上に乾燥効率が非常に悪く水分が多い粃の時には次の日に稲刈りができないこともある。また、乾燥が早く終われば稲刈り前の朝の時間に粃摺りをすることができ深夜までの作業をしなくても済むことになる。省エネ型で容量が大きくて乾燥効率の良いものを導入したい。

- ・乾燥時間の短縮 25石; 20時間 → 35石; 12時間
- ・省エネルギー 灯油、電気の使用量減

④粃摺機、選別計量器の導入

より能力が高く性能の良い機械を導入して、米の品質向上と作業能率の向上に取り組みたい。

- ・粃摺機 自動化により粃摺り精度の向上
- ・選別計量器 処理能力の増大、選別精度の向上
粃摺り時間の短縮 55袋/時 → 65袋/時

⑤ホイス、粃受けホッパーの導入

収穫した粃はフレコンを使いトラックで運搬しているが、乾燥機に張り込むのにホイスと粃受けホッパーを利用することによりクレーン付きトラックを借用しなくても良くなる。また、妻でも張り込み作業ができるようになり、労働時間の縮減ができる。

⑥フォークリフト、パレットの導入

袋詰めした米をパレットに積みフォークリフトでの移動、はい付け及び土壌改良資材、育苗用土、肥料等の積み降ろしに使用することにより労力の軽減を図りたい。

⑦米袋リフトアップ機の導入

米の製袋を腰・肩の高さまで電動で上昇させることにより、腰への負担や体力の消耗が軽減でき、作業効率が上がる。

⑧田植機の導入

側条施肥機、箱施用剤散布機、枕地ならし機付きの6条植田植機の導入し、田植え作業の省力化、高能率化を図りたい。

- ・田植え作業の高速化
- ・箱施用剤散布労力の減
- ・枕地ならし作業労力の減

2) 事業の効果及び目標

①収穫後の籾の運搬や乾燥調整作業の効率化と労力の軽減ができる。

②最新の機械を導入することにより米の品質向上と省エネが図られる。

③体力の消耗、腰痛等の軽減が図られる。

以上のことから、より経営規模の拡大に取り組み易くなると共に後継者に継ぐまでの間、営農を継続することができる。

具体的な目標

(単位 ; a)

		現状	目標 (28年)		種類	現状	目標 (28年)
耕地	自作地	241	241	受託作業	耕耘	16	60
	借入地	740	950		代掻	60	60
作目	水稻	856	1000		田植	300	360
	大豆	28	35		稲刈	300	360
	そば	31	50		乾燥調整	280	360
	その他	66	106				

3 目標達成に向けての取組（年次別の行動計画）

項 目	内 容	H24	H25	H26	H27	H28
規模拡大	利用権設定、受託作業による経営面積の拡大	○	○	○	○	○
農作業場の移転、新築	77㎡、平屋建の新築（電気工事を含む）		◎			
粃乾燥機の導入	35石、省エネ型の導入		◎			
粃摺機、選別計量器の導入	5インチ、自動型粃摺り機、2.1t型選別計量器の導入	◎				
米袋リフトアップ機の導入	電動リフト 1,4mまで上昇	◎				
粃受けホッパーの導入	4.5m搬送用粃受けホッパーの導入	◎				
ホイスツの導入	1tホイスツの導入		◎			
フォークリフト、パレットの導入	1.5tフォークリフト（中古）、平積みパレット15枚の導入	◎				
田植機の導入	6条植、施肥機、箱剤散布機付きの導入	◎				

* ◎は県、町の支援が必要なもの（チャレンジプラン支援事業）

4 機械・作物の年次別計画

年 度	平成 2 4 年	平成 2 5 年
機械・施設 導入計画	粃摺機の導入 1 台 (9 0 0 千円) 選別計量器の導入 1 台 (3 4 0 千円) 米袋リフトアップ機 1 台 (1 4 0 千円) 田植機の導入 1 台 (2 , 6 0 0 千円) フォークリフトの導入 1 台 (1 , 0 0 0 千円) パレットの導入 1 5 枚 (1 5 0 千円) 粃受けホッパーの導入 1 台 (2 2 0 千円)	農作業場の建設 1 棟 (6 , 1 8 8 千円) 電気工事 1 式 (3 2 4 千円) 粃乾燥機の導入 1 台 (1 , 7 4 0 千円) ホイストの導入(設置工事共) 1 台 (2 4 0 千円)
ソフト事業 計画		
対象作物の 生産計画	水稻 8 5 6 アー 受託作業延べ面積 1 , 0 0 0 アー	水稻 8 6 0 アー 受託作業延べ面積 1 , 0 0 0 アー

年 度	平成 2 6 年	平成 2 7 年	平成 2 8 年
機械・施設 導入計画			
ソフト事業 計画			
対象作物の 生産計画	水稻 9 4 0 ㌥ 受託作業延べ面積 1,200 ㌥	水稻 1,000 ㌥ 受託作業延べ面積 1,200 ㌥	水稻 1,000 ㌥ 受託作業延べ面積 1,200 ㌥

(注) () 書きには事業費を記入すること

5 支援事業の内容

(単位：円)

年度	内 容	事業費	事業費			備考
			県	町	事業主体	
24	粃摺機の導入	900,000				
	選別計量器の導入	340,000				
	リフトアップ機	140,000				
	田植機の導入	2,600,000	1,783,000	892,000	2,675,000	
	フォークリフトの導入	1,000,000				
	パレットの導入	150,000				
	粃受けホッパーの導入	220,000				
	小 計	5,350,000	1,783,000	892,000	2,675,000	
25	農作業場の建設	6,188,000				
	電気工事	324,000	2,830,000	1,416,000	4,246,000	
	粃乾燥機の導入	1,740,000				
	ホイストの導入	240,000				
	小 計	8,492,000	2,830,000	1,416,000	4,246,000	
26						
	小 計					

(注：ソフト事業についても記入すること)